

神奈川県 CST プラン 第二回公開シンポジウム
「理科教員養成の新展開～C S T 養成と活動の可能性を探る～」

日 時 2012年9月16日(日) 13:00～17:30 受付開始 12:00
シンポジウム後に情報交換会 18:00～20:00

会 場 横浜情報文化センター6階 情文ホール(神奈川県横浜市中区日本大通11)
(みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口 徒歩0分)
<http://www.idec.or.jp/shisetsu/jouhou/access.php>
(情報交換会会場:横浜情報文化センター1階 LUNCHAN AVENUE)

プログラム

12:00～13:00 受付

13:00～13:15 開会挨拶

高木 まさき(横浜国立大学 教育人間科学部 学部長)

平出 彦仁(神奈川県教育委員会 委員長)

山末 進一(独立行政法人科学技術振興機構 理数学習支援センター 調査役)

13:15～13:20 趣旨説明

森本 信也(横浜国立大学 教育人間科学部 附属高度理科教員養成センター センター長)

13:20～14:20 口頭発表1

座長:加藤 圭司(横浜国立大学教育人間科学部)

01-01 神奈川県 CST プランの現在とこれから ―神奈川県 CST 協会の設立に向けて―

○津野 宏(横浜国立大学教育人間科学部)

01-02 初任者に向けた理科学習における危機管理の指導とその工夫

○望月 美和子(川崎市立はるひ野小学校)

01-03 CSTスタンダードを活用した科学館のメガスターを使った学習プログラムの共同開発

○野原 博人（川崎市立南原小学校）、米倉 竜司（かわさき宙と緑の科学館）

01-04 小学校研究組織の中におけるC S Tの活動について ―野外観察の臨地研修会を中心にして―

○山岸 木聖（川崎市立はるひ野小学校）

14：20～14：30 休憩

14：30～15：15 口頭発表2

座長：河潟 俊吾（横浜国立大学教育人間科学部）

02-01 長崎県におけるC S T養成及びC S T活動の現状と課題

○星野 由雅、呉屋 博、長島 雅裕、橋本 健夫（長崎大学）

02-02 理数系教員養成拠点構築プログラム(福井大学)と中級CST養成プログラム受講者の取り組み

○笹山 裕樹（福井大学大学院教育学研究科）、○平中 宏典（福井大学教育地域科学部）

02-03 高知CSTプログラムの取組み -成果と課題-

○大島 竜午、吉岡 健一（高知大学総合教育センター）、蒲生 啓司（高知大学教育学部）

15：20～16：20 ポスター発表

P-01 理科授業で利用しやすい映像メディアの活用法

○大野 豊（福井県美浜町立弥美小学校）

P-02 理数系教員養成拠点構築プログラム(福井大学)と中級CST養成プログラム受講生の取り組み

○笹山 裕樹（福井大学大学院教育学研究科）、○平中 宏典（福井大学教育地域科学部）

P-03 C S T教員としての初年度の取り組みについて ―C S T教員として何ができるのか―

○牧 逸馬（鹿児島市立東谷山小学校）

P-04 中学校区内の小学校への出前授業

○西丸 松美（鹿児島市立谷山北中学校）

P-05 高知県の理科教育の取組 ―高知C S T活動への期待―

- 小田 通（高知県教育委員会事務局小中学校課）
- P-06 地域資源を活用したC S Tの活動 ―地域教材の開発―
○安井 正仁（高知県高岡郡津野町立葉山小学校）、楠瀬 弘哲（高知県高知市立鴨田小学校）、
蒲生 啓司（高知大学教育学部）
- P-07 『理科の柱』となる教員に求められること
○垣内 康孝、堀田 のぞみ、千葉 和義
（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター）
- P-08 岡山C S T養成プログラムの現状と課題 ―3つの力の育成をめざす「C S Tおかやま」―
○山崎 光洋、平野 和司、荒尾 真一（岡山大学教師教育開発センター）、稲田 佳彦（岡山大学教育学研究科）、加賀 勝（岡山大学教育学研究科、岡山大学教師教育開発センター）
- P-09 理科を教える教員に、楽しさを伝え、苦手な部分をサポートするCSTのありかた
○治部 加奈子（海老名市立杉本小学校）
- P-10 横須賀市教育研究所と連携しての活動報告 ―身近な教材を活用した観察実験―
○太田 泰義（横須賀市立坂本中学校）
- P-11 問題解決の学習のための効果的な教材・教具の扱いについて
○永嶋 裕一（横須賀市立豊島小学校）
- P-12 子どもはわくわく、教師はらくらく 理科実験
―第6学年「水溶液の性質」 ムラサキキャベツ液での液性調べを通して―
○松浦 葵（横浜市立下和泉小学校）
- P-13 理科実験演習における理科が苦手な教師への支援について ～粒子単元を通して～
○岩本 和人（川崎市立土橋小学校）、古山 大介（川崎市立宮前小学校）、
松木 瑞穂（川崎市立稲田小学校）、早野 大祐（川崎市立金程小学校）
- P-14 理科学習における理科実験が苦手な教師への支援について
―エネルギー領域における実験指導法―
○芳賀 淳一（川崎市立下布田小学校）、岩本 和人（川崎市立土橋小学校）、居相 剛（川崎市

立今井小学校)、光岡 靖智 (川崎市立南菅小学校)、野原 博人 (川崎市立南原小学校)

P-15 理科の楽しさを伝え、理科研究を活性化するためのアプローチ

—自然に親しみ、発見する喜びを感じる子の育成を通して—

○矢嶋 竜太郎 (川崎市立小倉小学校)

P-16 酸化還元反応の利点を生かした教材開発 ～交通信号反応を例に～

○木村 朋恵 (横浜国立大学大学院教育学研究科)、鈴木 俊彰 (横浜国立大学教育人間科学部)

16 : 20～16 : 30 休憩

16 : 30～17 : 30 パネルディスカッション「C S T養成と活動の可能性を探る」

コーディネーター

森本 信也 (横浜国立大学教育人間科学部 教授、附属高度理科教員養成センター センター長)

パネリスト

平出 彦仁 (神奈川県教育委員会 委員長、横浜国立大学名誉教授)

安部 賢一 (川崎市教育委員会 学校教育部 指導課 担当課長)

鍵 裕之 (東京大学大学院 理学系研究科 教授)

星野 由雅 (長崎大学大学院 教育学研究科 教授)

津野 宏 (横浜国立大学教育人間科学部 准教授、附属高度理科教員養成センター 副センター長)

17 : 30 閉会挨拶

峪 正人 (川崎市教育委員会 委員長)

森本 信也 (横浜国立大学教育人間科学部 附属高度理科教員養成センター センター長)

18 : 00～20 : 00 情報交換会